

千葉県保護上重要な野生生物 —千葉県レッドデータブック— 追録

第2号（平成24年3月）

○ 本号での変更

本号で行うランク変更は、植物・菌類編の掲載種のうち、次の2種です。詳細については裏面を御覧下さい。

種名	変更内容	変更理由
ミヤコアザミ	X から A に変更	絶滅と考えられてきたが、あらたな生育地が発見された。
コバノヒルムシロ	X から A に変更	絶滅と考えられてきたが、あらたな生育地が発見された。

○ 本追録の位置づけ

千葉県では、保護すべき貴重な野生生物のリストである「千葉県の保護上重要な野生生物—千葉県レッドデータブック—」及び「千葉県レッドリスト」をおおむね5年の間隔で発行してきました。しかし、毎年のように未記録の野生植物の発見が報告され、5年の間隔では緊急時に対応できないことが明らかとなってきました。そこで平成22年度から、年一回、レッドデータブック・レッドリスト掲載種の追加、ランク変更、削除等を行い、追録として公表しています。

本追録は、緊急を要する絶滅危惧生物のランクの改訂等を掲載し、広く県民に最新の情報を伝えることを目的としています。このため、冊子体のほかインターネットによる公開を行っています。

○ レッドデータランク等について

本冊子でランク変更、追加、削除がなされた種については、本冊子の記述が優先し、以前に発行された「千葉県レッドデータブック」及び「千葉県レッドリスト」の記述は無効となります。

○ 訂正

追録1号において、スズカケソウの学名に誤りがありましたので訂正します。正しくは以下のとおりです。
Veronicastrum villosulum (Miq.) T.Yamaz.

千葉県の保護上重要な野生生物—千葉県レッドデータブック—追録第2号（平成24年3月）
2012年3月発行
編集 千葉県希少生物及び外来生物リスト作成委員会
発行 千葉県環境生活部自然保護課 〒260-8667 千葉市中央区市場町1番1号
電話 043-265-3601 / ファックス 043-265-3615（千葉県生物多様性センター）
URL <http://www.bdcchiba.jp/>

Saussurea maximowiczii Herder

【種の特性】 多年生草本。自然的あるいは半自然的なススキ草原,あるいは明るい雑木林に生える多年生草本。根生葉は羽状に分裂しロゼットを形成。茎は高さ1~1.5mほどで、細く、ススキなどとともなう叢生して直立するが、単生した個体では、花時に茎が半ば傾く。〔H〕

【分布】 本州・九州、中国、ウスリー。

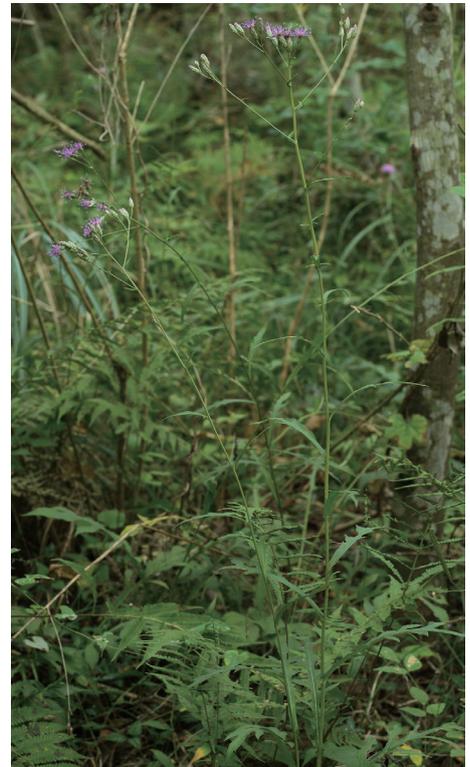
【県内の状況】 鴨川市嶺岡山（浅野貞夫 1946.10.13）、旧茂原町（若名東一 1957.09.29）、長生村八積（若名東一 1957.09.29 および 1958.08.31）で採集された標本があり、ほかに東金市の木原と依古島の記録がある。1958年の長生村八積での採集記録を最後に消息不明となっていたが、2011年6月に大場達之と谷城勝弘が長生村で再発見し、根生葉と枯茎に残った総包によって同定、2011年の花期に再確認した。生育地は放置された伐採跡地で、アカメガシワの先駆低木群落の老成した環境である。1999年および2009年の千葉県レッドデータブックでは消息不明・絶滅とされていた。

【保護対策】 開花時にはかなり目立つ植物なので、観賞用などに採取される可能性がありうるほか、近隣に宅地が造成されつつあるので、宅地開発で失われる可能性が心配される。

【文献】 岩瀬徹・野口昭造・倉俣武男 2011. 千生誌 61(2):6~7.

【写真】 2011.09.14 千葉県長生村 大場達之.

【ランク変更理由】 新生育地が2011年に確認されたことによる。盗採の可能性に配慮し、分布図省略。 (大場達之)



A コバノヒルムシロ ヒルムシロ科

Potamogeton cristatus Regel et Maack

【種の特性】 浮葉生の多年草。茎は細く、下部からよく分枝する。沈水葉は線形幅0.3~1mm、浮葉は楕円形で長さ20mm、幅6~7mm、下部の浮葉は、先端が長く尖るものが混じることがある。花は6~7月に咲き、花序は長さ5~7mmほど。花柱は長さ1.5~1.7mm(数値は市原市産による)。果実には鶏冠状の著しい突起がある。ミズヒキモによく似ていて果実の形態のみが著しく異なる。果実のない個体では同定が困難である。〔HH〕

【分布】 本州・九州、朝鮮、中国、ウスリー。全国的に稀な植物である。

【県内の状況】 いすみ市（旧総元村 若名東一 1940.06.06）、銚子市黒生町（若名東一 1962.05.20）、野田市、勝浦市などから記録されていた。近年は記録が途絶えていたが、2010年に市原市の谷津奥の用水堰に生育するのが発見された。

【保護対策】 水質の変化、とくに富栄養化、農薬の流入、透明度の低下などに弱いので、水質の維持に留意する必要がある。

【文献】 千植誌 1975 478/伊藤至 1988 水草三題・千生誌 37(1~2):11-14/千植誌 2003 664,660.

【写真】 2011.07.03 市原市 大場達之.

【ランク変更理由】 新生育地が2011年に確認されたことによる。盗採の可能性に配慮し、分布図省略。

(谷城勝弘/大場達之改訂)

